

# 本部青年部 年末手当の要請行おう!!

2013年10月30日、貨物労組青年部は本社に対して2013年度年末手当の要請を行いました。冒頭、森川青年部長から「本日は職場の青年部員の思いを持ってきた。会社は真摯に受け止め実行する事」と会社に突き付け要請文を読み上げました。

青年部の要請として、会社はこの間、私たちとの約束である「収入拡大を全力で行う」事を疎かにしており、経営自立計画に基づいて策定した平成25年度事業計画では人件費の大幅な削減を盛り込み、基本給や手当などを削減し、計画を達成させる考えを示した。さらに夏季手当では、会社は自ら示した私たちの生活給を「鉄道事業部門の赤字を縮小すること」を理由として生活給をも保障しなかった。しかし、会社経営陣は報酬カットと言いつつも生活給を保障している。全国の職場で働く青年部員は夏季手当の超低額回答と会社経営陣の姿勢や事実に対して怒り心頭である。会社経営陣は職場で必死に働き努力をしている青年部員に対し、年末手当を満額回答で応え、「大幅な人件費の削減施策」を即時に撤回するよう強く要請しました。

要請に対して会社は、皆さんの会社に対する思いと言っている。生活が厳しいことも認識している。今飛躍という中期経営計画を立てやってきたが、収入計画が100億円落ちており、穴埋めを経費でやってきた。今やっている事として、運輸収入を上げるところに一番力を入れている。

それに対して青年部から、職場では要員、車両が不足しており慢性的な列車の遅れに支障をきたしている。更には、鉄道貨物の安全を担う職場の青年部員は、会社の効率化により業務量が増し、年休が入らない中、夏季手当1.1ヶ月という超低額な支払いがされ、苦しい生活を強いられており精神的にも落胆している。その様な精神状態で安全性が求められても限界がある。余席の積載を求めるのであれば、会社は年末手当を満額回答で応え職場で働く青年部員の生活を保障しモチベーションアップを図り、質を上げるべきである。

本社は、スリム化をやると言っておきながらやっていないし、そもそも新宿にある必要もない。青年部は一切人件費の削減は許さない。ことを会社経営陣に突き付けました。

最後に会社経営陣は、「今後も青年部員の声聞いていく」と答えました。



## 会社は私たちの声を受けると示しています! 職場から青年部の怒りを声をぶつけよう!!